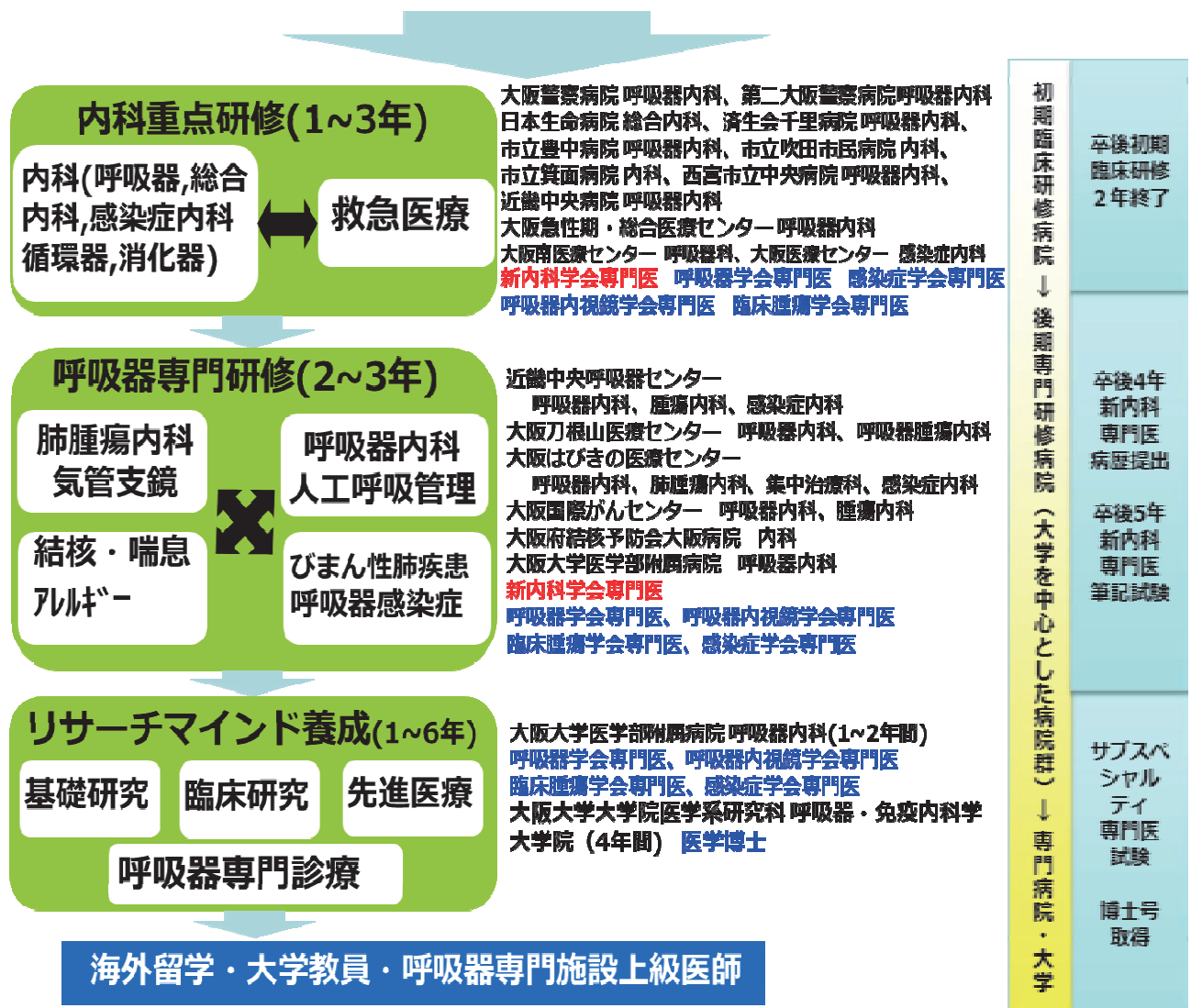


内科専門研修プログラム

サブスペシャリティ重点コース / 呼吸器内科コース

(1) コースの全体像

本コースは呼吸器専門医、肺がん診療の専門医、気管支鏡専門医を養成することを目指すコースである。内科重点研修では、一般関連病院で内科全般と救急医療をローテーションし認定内科医を取得する。呼吸器内科専門研修では、呼吸器専門関連病院において肺腫瘍内科・呼吸器内科・結核内科・アレルギー内科等の専門領域をローテーションする。この間に多様な呼吸器疾患の診療を経験し、同時に気管支鏡・人工呼吸管理を習得する。また、阪大呼吸器内科で基礎研究または臨床研究に従事、また先進医療に携わり学位を取得することを目標に含める。その間に呼吸器専門医、呼吸器内視鏡専門医、がん治療認定医、がん薬物療法専門医の取得を目指す。その後は海外留学もあるが、阪大呼吸器内科教員として研究・教育等に従事するか、呼吸器専門施設の上級医師として臨床研究等に従事することになる。人事交流も活発に行っている。



(2) コースの概要

コース名： 呼吸器内科コース					
医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目 的	受入人数
(一般関連病院) 大阪警察病院、第二大阪警察病院、済生会千里病院、市立豊中病院、西宮市立中央病院、学校共済近畿中央病院、大阪急性期・総合医療センター、国立病院機構大阪医療センター、国立病院機構大阪南医療センター、日本生命病院、市立吹田市民病院、市立箕面病院	内科 総合内科 呼吸器科 呼吸器内科	内科全般 救急医療	2～3 名/ 施設	内科全般と救急医療を 研修	1～2 名/施設 (変動)
(呼吸器専門関連病院) 国立病院機構刀根山医療センター、国立病院機構近畿中央呼吸器センター、大阪はびきの医療センター、大阪国際がんセンター、大阪府結核予防会大阪病院	呼吸器内科 腫瘍内科 肺腫瘍内科 呼吸器腫瘍感 染症内科 内科 アレルギー内科	呼吸器全般 肺癌 呼吸不全 肺結核 気管支喘息	5～10 名/ 施設	呼吸器専門診療 肺癌診療 呼吸管理 肺結核診療 喘息診療	1～10 名/施設 (変動)
大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学	呼吸器内科	呼吸器全般	5～10 名	基礎・臨床研究 先進医療	2 名/年
				受入人数	約10名/年

(3) コースの実績

2019 年度の本コースへの参加登録実績は、全 52 名であった。直近数年の新規登録の実績は、2020 年が 11 名、2019 年は 2 名、2018 年は 4 名、2017 年 5 名である。なお、このうち大学院で研究をしている研修医は 12 名で、関連病院へは大阪急性期・総合医療センター 3 名、大阪警察病院 5 名、日本生命病院 2 名、西宮市立中央病院 3 名、市立豊中病院 2 名、大阪はびきの医療センター 2 名、第二大阪警察病院（旧 NTT 西日本病院）3 名、大阪府結核予防会大阪病院 2 名、大阪刀根山医療センター、堺市立総合医療センター、八尾徳洲会総合病院でも各 1 名ずつ勤務・研修を行っている。（2020 年参加者以外は、2019 年度実績）

(4) コースの指導状況

一般関連病院は救急を含め臨床研修、教育スタッフの充実した総合病院である。呼吸器専門病院群は近畿地方でも屈指の病院であり、肺癌、間質性肺炎、呼吸不全、抗酸菌感染症等に豊富な患者数と医師数を擁し、専門スタッフが高度の診療技術と臨床研究の指導を行っている。また、大阪大学呼吸器内科では、基礎・臨床研究や先進的な診療を行い、これらの施設を循環し優れた呼吸器専門医・研究者の養成を目指している。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本呼吸器学会
資格名	呼吸器専門医
資格要件	会員歴 3 年以上、および認定内科医を取得した年度より 3 年間以上、認定施設において臨床研修を終了した者（その他、論文業績等）
【学会の連携等の概要】 2019年4月現在の認定施設 大阪大学医学部附属病院、大阪医療センター、大阪急性期・総合医療センター、大阪警察病院、大阪国際がんセンター、大阪刀根山医療センター、大阪はびきの医療センター、大阪南医療センター、近畿中央病院、大阪府結核予防会大阪病院、済生会千里病院、市立吹田市民病院、市立豊中病院、西宮市立中央病院、日本生命病院	

学会等名	日本呼吸器内視鏡学会
資格名	気管支鏡専門医
資格要件	会員歴 5 年以上の者。（その他、論文業績等）
【学会の連携等の概要】 2020年 1 月現在の認定施設 大阪大学医学部附属病院、大阪医療センター、大阪急性期・総合医療センター、大阪国際がんセンター、大阪刀根山医療センター、大阪はびきの医療センター、近畿中央呼吸器センター、済生会千里病院、市立吹田市民病院、市立豊中病院	

学会等名	日本臨床腫瘍学会
資格名	がん薬物療法専門医
資格要件	初期研修 2 年の後、5 年以上がん治療の臨床研修を行っていること。 認定研修施設において所定のカリキュラムを修了していること。 呼吸器専門医を有していること。（その他、論文業績等）
【学会の連携等の概要】 2020年 4 月現在の認定施設 大阪大学医学部附属病院、大阪医療センター、大阪急性期・総合医療センター、大阪警察病院、大阪国際がんセンター、大阪刀根山医療センター、大阪はびきの医療センター、大阪南医療センター、市立吹田市民病院、市立豊中病院、近畿中央病院※、西宮市立中央病院※、日本生命病院※、（※＝特別連携施設）	

問い合わせ先

■ 大阪大学医学部附属病院 呼吸器内科

担当者 平田 陽彦

✉ charhirata@imed3.med.osaka-u.ac.jp

診療科ホームページ <http://www.imed3.med.osaka-u.ac.jp/training/t-resp01.html>